



なでしこ

東京都杉並区立大宮中学校 学校だより

平成 30 年 4 月 10 日 第 1 号(18-1)

発行責任者：校長 関田 誠

『なでしこの 色鮮やかに 明るく強く 優しい心で 毎日挑戦』

4/7 (土) 入学式校長式辞 (抄録)

『優しさ』をもって『挑戦』する中学生であれ！

(前略) 今、新入生の皆さんは、体中にちょっぴりの不安と、フレッシュなやる気で満ちていると思います。新しいのは身に付けている、服や鞄だけではありませんね。大宮中学校という新しい学校に入学したのです。今日の皆さんのように、気持ちが新鮮でワクワク感のある瞬間は、人生の中でも中々ありません。そこでまず、ちょっぴりの不安を解消してあげましょう。大宮中の三年生・二年生の上級生は優しいです。君たちが校内で困ったことがあったら見過ごしません。温かく声をかけてくれます。なぜか？それが大宮中の伝統だからです。大宮中生のつながりを大切にして絆を深める伝統です。例えば、皆さんが部活動の入部で迷っていたら、優しく接してくれるでしょう。(入れてしまえばこっちのもの)というような先輩はいませんから、安心してください。さらに大宮中の先生方も、皆さんに優しい。皆さんができないことを、できるように指導することが先生方の仕事です。そのために、皆さんに寄り添って、優しく相談に乗ります。

ところで、皆さんは『優しさ』の意味は、何だか知っていますか？『優しい』とは『人に親切にする』という意味ではないのです。『優しい』という字は分かりますか？これです。『人偏に憂う』と書きます。『憂う』の意味は分かりますか？

『何か良くない事が起こりそうで心配する』つまり、『優しさ』とは『人のつらさや悩みを、想像してあげること』なのです。大宮中の上級生や先生方が、皆さんに優しいとはそういう意味です。



ですから安心して大宮中の学校生活をスタートしてください。そして大切なことは、自分たちの仲間、五十六名の一年生が、お互いに『優しさ』を発揮することです。まわりの人のちょっとした言動に、悩みやつらさを感じたら、それを一緒に想像してあげてください。その結果としての親切な行動です。ぜひ、つながりを大切にして絆を深める、『優しさ』のある一年生集団になってください。

もう一つ、フレッシュでやる気に満ちた、今の皆さんにお願いがあります。それは『挑戦する大宮中生であれ！』、という精神です。これが『挑戦』ですね。今日から大宮中生になったからには、挑戦する若者でありたいと願い、実際に行動してください。ただし、困難なことに挑戦をすれば、上手くいくことは少なく、失敗や挫折ばかりと、不安に思う人もいるかもしれません。そこで一年生のみなさんに質問です。3秒間考えてください。『挑戦の反対の行動は何だと思いますか？』 皆さんならわかりますね。答えは『何もしないこと』 自分への挑戦を何もしない毎日の3年間に、心の踊るワクワク感はありません。得意なことを、さらに磨き上げる挑戦、苦手意識のある高い壁に挑戦、つまり『なりたい自分への挑戦』です。さあ、今日から皆さんは、『挑戦を続ける 優しさにあふれた大宮中生』の一員です。今日の私の話の細かい内容は、みなさんは忘れて構いません。ただ『優しさ』『挑戦』、この言葉が心に刻んでください。

(後略) 😊

4/7（土）第 72 回入学式

天気も新入生を祝福してくれました

春爛漫の青空の午前中、本校体育館で入学式を実施いたしました。今年度は、例年より多い56名の新入生を迎えることができました。当日は地域の来賓のご臨席を賜る中、生徒会長の歓迎の言葉、新入生代表生徒の誓いの言葉の後、新2・3年生による、合唱『春風の中で』の歌声で体育館の空間が満たされ、あたたかい雰囲気の中、新入生を迎えることができました。新1年生は、上級生が披露してくれた、美しい大宮中学校歌を覚えた時に、名実ともに大宮中生になります。

新入生誓いの言葉（抄録） 佐藤 凜子



（前略） 今朝、真新しい制服にそでを通した時、（中学生になったのだ）、という実感がわいてきました。これから、中学校生活が始まります。難しい学習についていけるだろうか、先生は厳しいだろうか、先輩や友達と仲良くできるだろうか、不安と緊張を抱えながら今日、大宮中学校の門をくぐりました。しかし、校長先生や先輩方からの励ましの言葉をいただき、今は期待で胸が一杯です。ありがとうございました。

私が中学校で楽しみにしていることは、部活動です。理由は小学校ではなかった活動なので、新しい経験ができるからです。また、がんばりたいことは学習です。理由は中学校では、学習内容が難しくなるからです。そこで私は小学校の学習を生かし、中学校の学習についていけるようにしたいです。

大宮中学校で学ぶ三年間で私たち新入生は、共に成長し、良い影響を与え合う関係になっていきたいです。そのためには、学習だけでなく、学校行事や、部活動、地域の行事にも関わり、一生懸命取り組むことで、自分自身を向上させていくことが必要だと思います。小学校で学んだ「友達との協力」を生かし、努力を惜しまず、何事も最後まであきらめずにやり抜き、充実した毎日を送りたいです。

中学生になると今まで以上に、悩んだり立ち止まったりすることが増えると思います。一人でも、友達に相談しても解決できない時には、先生方や先輩方に助けて頂くこともあると思います。その時はどうぞよろしくお願いします。

歓迎の言葉（抄録） 生徒会長 長濱 洸

（前略） 私も二年前、皆さんと同じ気持ちを胸に、この大宮中に入りました。初めは緊張し不安が大きかったのですが、すぐに新しい友達ができ、にぎやかな先輩や先生方のおかげで、楽しい中学校生活が始まりました。安心してください。先輩や先生方は皆優しいですよ。

これから大宮中学校について少しお話ししたいと思います。まずは学習についてです。中学校は教科ごとに先生が違います。それぞれの教科について、より深く学ぶことになります。また、年に五回定期考査がおこなわれます。授業も、テストも、初めのうちは勉強の仕方がわからなく、難しく感じるかもしれません。しかし、次の二つのことを心がければ大丈夫です。一つ目は「話をよく聴く」ことです。先生の説明や友達の発言をよく聴くと、楽しく学ぶことができます。二つ目は「自分の意見を発言する」ことです。意見を交わし合うことで、授業の内容がわかるようになります。次に部活動についてです。運動部、文化部共に目標に向かい日々努力しています。自分の好きなことに打ち込むことで、勉強との切り替えができ、より充実した学校生活を送ることができます。学校生活の中で困ったことや不安なことがあったら、先生方や二・三年生に気軽に相談してください。大宮中生は学年の隔てなく仲が良いのがいいところです。私達は皆さんが学校に慣れ、楽しい生活を送れるように手助けをしていきます。これからの大宮中学校を共に築いていきましょう。



4/6（金）平成 30 年度 一学期始業式

春休み明け、心新たに新 2・3 年生として在校生が登校し、新クラス発表の後、始業式、新しい学級開きが行われました。

始業式 校長式辞 ～頑張る時は、いつも『今』『ここで』の話～

いよいよ新しい学年が始まりました。新たな気持ちで、胸の中には新鮮な風が流れている皆さんに、二行だけの短い詩をプレゼントします。

『大切なのは かつてでもなく これからでもない

一呼吸 一呼吸の 今である』 坂村真民

『かつて』とは『過去』。ですから「前にやりました」は、過去の話です。『これから』とは『未来』。ですから「これからやります」は、まだやっていないから、本当にやるのかどうかは別の話です。『一呼吸一呼吸』している、今この瞬間の『時』に、何をしているかが大切だと言っています。人生でもう一つ大切なことは、『場所』があります。例えば「ここじゃだめだ。別の場所だったらできるのに」という言葉をどう思いますか？私たちは『ここ』で何ができるか、『ここ』でやっているか、が大切です。



要するに、人は『いま』と『ここ』にいる瞬間が頑張りどころなのです。私たちの人生は、『いま』と『ここ』の繰り返しであり、積み重ねだということを、この詩は語っているのだと思います。

ところで、坂村さんの詩のタイトルは何でしょう？一番先頭にいる 3 年生の岩崎さん、どうですか？（岩崎さん指名に戸惑いつつ）「今？」 正解。素晴らしい！『今』です。

今日つまり『今』は、これからの一年間の新しいクラスで、担任の先生や仲間と出会った出発の日です。どういう気持ちでいますか？（このクラスで良かった～。百点満点。） 逆に（隣のクラスの方が良さそう。あの友達と離れて残念。）。いろいろな思いが渦巻くのは人間だから当然です。いずれの場合も、こうした気持ちは、主に自分がまわりに対して求める期待から生まれるものです。しかし一番大切な事は、皆さん自身が「今 ここで 一生懸命頑張る」こと、「仲間に何ができるか」です。そういう気持ちの人で満ちている新しいクラス、新二年生であり新三年生であってください。これからの一年間を、充実して感動のある『時』、『場所』にしてください。あれこれ言い訳し、逃げている「今」であってはなりません。これを四月の最初に皆さんに求めます。ぜひ応えてほしい。

最後に、明日は入学式です。しっかりした態度で新入生を迎え、一年生の不安や心配を和らげてあげてください。そして、新入生にとって、毎日生き生きしている皆さんの姿が、憧れの先輩になるように応援しつつ、始業式の挨拶といたします。 😊